

## 22年11月新着ピックアップ図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
<b>ファスト教養 10分で答えが欲しい人たち</b>	レジー／著	集英社	2022.9	002-レ
社交スキルアップのために古典を読み、名著の内容をYouTubeでチェック…。このような「ファスト教養」がビジネスパーソンの間で広がっている。現代の「教養論」を分析しながら、日本の息苦しさの正体を明らかにする。				
<b>試験に出る現代思想</b>	斎藤／哲也／著	NHK出版	2022.10	133-サ
センター試験・共通テスト「倫理」厳選23問を入口に、基本知識から、フェミニズムやケアの倫理など最前線の思想までを網羅。20世紀以降の哲学の流れと見取り図を明快に示した現代思想の入門書。				
<b>怒る勇気</b>	岸見／一郎／著	河出書房新社	2021.10	141-キ
理不尽や不正が蔓延する時代、必要なのは「真の怒り」＝「公憤」である。公憤としての怒りはどういうものか、怒らなければどんな問題が起こるかを明らかにし、どうすることが公憤としての怒りを持つことなのかを考える。				
<b>女女問題のトリセツ イラつく女への7つの対処法</b>	黒川／伊保子／編著	SBCクリエイティブ	2022.9	143-ク
自分より美しい相手にイラつく、自分よりも劣っている相手にイラつく、マウントしてくる相手にイラつく、使えない相手にイラつく…。女同士の人間関係を脳科学で解明し、その対処法を具体的に伝える。				
<b>過剰可視化社会 「見えすぎる」時代をどう生きるか</b>	與那覇／潤／著	PHP研究所	2022.5	304-3
数値化、エビデンス、タグ化が求められ、価値の「見える化」が過剰に進行するコロナ後の社会を考察。人文学の方法論の壁を超えて「見えない信頼」を取り戻す方法を提言する。臨床心理士、哲学者らとの対談も収録。				
<b>私が見つかったモモンと民主主義 日本人女性移民、ヨーロッパのNGOで働く</b>	岸本／聡子／著	晶文社	2022.7	309-キ
NOではなくYESで世界を変える！ オランダ人との国際結婚に葛藤しながらも、移民として学歴もお金もないところから欧州のNGOで働き、気候正義、多様性を追いかけてきた日本人女性の、希望のポリティクス体験記。				
<b>犯罪心理学者が教える子どもを呪う言葉・救う言葉</b>	出口／保行／著	SBCクリエイティブ	2022.8	379-テ
親がよかれと思って投げかけた言葉が「呪い」となって、子どもを思わぬ方向に導いてしまう…。多くの犯罪者・非行少年の心理分析をしてわかった、子どもの可能性を潰さずに伸ばす子育てを、事例とともに紹介する。				
<b>水木しげるロード全妖怪図鑑</b>	文藝春秋／編 水木プロダクション／監修 境 文藝春秋		2022.9	388-7
鬼太郎ポスト、死神、目玉おやじ、砂かけ婆…。「ゲゲゲの鬼太郎」で有名な漫画家・水木しげるの故郷・境港市の「水木しげるロード」等に設置された妖怪のブロンズ像を完全ガイド。折り込みマップつき。妖怪検定公式テキスト。				
<b>時計遺伝子 からだの中の「時間」の正体</b>	岡村／均／著	講談社	2022.9	464-オ
体内時計とは何か？ 生体リズムはどのように生まれるのか？ 睡眠、血圧など様々な体の機能に関わる時計遺伝子について、その分子機構から睡眠障害、生活習慣病の関係までを、哺乳類における生体リズム研究の第一人者が解説。				

<b>会話を哲学する コミュニケーションとマニピュレーション</b>	三木／那由他／著	光文社	2022.8	801-ミ
会話とは言葉をもって互いに影響を与え合う営みなのか？ 漫画や小説など27のフィクション作品を題材に、コミュニケーションとマニピュレーションという2つの観点から、会話という行為の魅力を読み解く。				
<b>語学の天才まで1億光年</b>	高野／秀行／著	集英社インターナショナル	2022.9	804-ク
インドで身ぐるみ剥がされ英語が上達、麻薬王のアジトでビルマ語学習…。学んだ言語は25以上。辺境ノンフィクション作家の超ド級語学体験記。語学上達のヒントも満載。				
<b>エモい古語辞典</b>	堀越／英美／著 海島／千本／イラスト	朝日出版社	2022.7	814-ホ
碧羅の天、千本桜、寒苦鳥、両面宿儺、玉藻前…。あの人気作に登場する言葉の意味がわかる！ 表現が広がる！ 小説やマンガなどの創作向けに、想像力が刺激される「エモい」古語1654語を厳選した古語辞典。				
<b>作家たちの17歳</b>	千葉／俊二／著	岩波書店	2022.4	910.2-チ
太宰治、宮沢賢治、樋口一葉…。日本の文学史に大きな足跡を残した作家が、17歳の時にどのような選択をしたか、また、その選択がその後の人生にどのような影響を及ぼしたかを、当時の日記や創作の言葉をもとに明らかにする。				
<b>パラレル百景</b>	笹／公人／短歌 北村／みなみ／絵	トゥーヴァージンズ	2022.3	911.1-サ
もう恋は終わったんだね 深海の魚のように瞬くビルよ 歌人・笹公人と、イラストレーター・北村みなみがコラボレーションした人気のTwitter連載を書籍化。巻末に短歌をテーマにした描き下ろし漫画3作品を収録。				
<b>たった1°のもどかしさ恋の数学短歌集</b>	横山／明日希／編著	河出書房新社	2022.7	B-911.1-ヨ
Twitterに投稿された愛をテーマにした「数学短歌」を紹介。一見、遠い分野にかんじる数学と短歌の意外な融合が、これまでにない美しさ、切なさを紡ぎ出す。数学のトピックをより深く味わえる解説付き。				
<b>子規365日</b>	夏井／いつき／著	朝日新聞出版	2019.8	B-911.3-チ
34年の短い生涯で、約2万4000もの俳句を残した正岡子規。その中から1日1句、365句を、俳人の夏井いつきが実作者としての感性で熟読玩味する。吟行エッセイ「大連風聞」も収録。				
<b>スイート・マイホーム</b>	神津／凜子／〔著〕	講談社	2021.6	B-913.6-カ
スポーツインストラクターの賢二は、寒がりの妻のため、たった1台のエアコンで家中を暖められる「まほうの家」を購入する。だが、引っ越し直後から奇妙な現象が起こり始める。さらに、関係者の一人が怪死を遂げ…。				
<b>カルト脱出記 エホバの証人元信者が語る25年間のすべて</b>	佐藤／典雅／著	河出書房新社	2017.1	B-916-サ
教団への不信、洗脳からの脱出、そして、難航する家族の説得。25年間にわたり「世界のすべて」であった場所を捨て、ついに「日常」を取り戻した男による、驚愕の手記。単行本の後日談「文庫版あとがき」を収録した決定版。				
<b>「他者」の起源 ノーベル賞作家のハーバード連続講演録</b>	トニ・モリスン／著 荒／このみ／訳	集英社	2019.7	930-ト
アフリカ系アメリカ人初のノーベル文学賞作家が、「他者化」のからくりを考察。過去の白人作家たちが作品に隠蔽した人種差別を暴き、その欺瞞を突きながら、自著の仕掛けも明かす。2016年のハーバード大学での連続講演録。				